



第42回東通村産業まつり

10月24日(日)、村体育館及び駐車場において第42回東通村産業まつりが行なわれました。

当日は天候にも恵まれ、お目当ての農産物等を手に入れようと、開始時間前から沢山の人が訪れていました。

開会セレモニーでは、越善靖夫村長の他、関係者により杵と臼で餅をつき、来場者につきたての餅が振る舞われ、駐車場内に設置されたイベントコーナーには、産業振興公社、商工会の他、新そば、畑作生産振興会、各漁協など各種コーナーが会場狭しと並び、威勢の良い呼び声が飛びかう中、新鮮で安い農林水産物を買求める人で賑わっていました。

水産コーナーでは、恒例の「サケのつかみ取り」「ミニミニ水族館」の他、「サケのちゃんちゃん焼き」が無料で振る舞われるなど、子供から大人までたくさんの方が楽しんでいました。特にサケのつかみ取りは、「子ども達にサケのつかみ取りを楽しんでもらいたい」との、漁師さん達の思いから、猛暑の影響で漁獲量が大幅に落ち込んで

いるにも関わらず、村内各漁協のご好意により、サケ100本が提供されました。

メインステージでは、東通中学校吹奏楽部やむつ工業高校吹奏楽愛好会の演奏会、東通中学校の坂本響くんのドラムソロ演奏などがあり、お客さんはそばや焼肉を楽しみながら聴き入っていました。

体育館内では、木工品販売や木工教室が行われ、親子で一緒に金づちを持つて巣箱を作る姿が見られました。また、電力コーナーでは、寒立馬育成チヤリティー募金協力者に、あったかいコーヒー・お茶のサービスがあり、他にも東通産の牛乳でのバター作り体験や、デザインナーの卵である東北の大学生たちによる、東通村を題材にした案内看板やお土産品のデザインなどが展示された「東通村のお宝さがし」など沢山のコーナーが来場者を楽しませました。

まつりを締めくくるビンゴゲームでは、村特産品が賞品とあって、自分の番号と熱心に見比べ、当選者が出るた

びに大歓声やため息が起こり、会場は秋の寒さを吹き飛ばすほどの盛り上がりを見せていました。

最後には、お客さんに無料で大根がプレゼントされ、最後まで賑やかな「産業まつり」となりました。



ステージでは音楽で会場を盛り上げました

越善村長の餅つきでまつり開始！